卒業論文の書き方

この文書は2020年12月のゼミ中で行われた、卒業論文の書き方と、それにあたっての注意点をまとめたものです。

章立て

1. 序論

概念的に説明する導入文。社会のニーズ等を説明する。

2. 研究背景

序論で説明したことを実現する技術。解決しなければいけない技術的な問題点。

2.1 従来研究

研究目的を喋れるように分類してみせる。"時代的", "歴史的", "方法論"

何個に分類するのか。(2.2, 2.3, 2.4)と分類していく。深くなるのを防止できる。式や図は論文から引用して詳しく説明する。

- 自分の手法のベースラインになるようなものは軽く説明する。詳しくは3.x章で述べること
- 自分の提案に関係ないことは細々説明しても良い。
- ただし、<mark>比較できる</mark>ように話を進めること。

 $\sim \sim \sim$

2.5 研究目的

従来研究に対する自分のポジション(立ち位置)を明らかにする

3. 提案

3.0

ベースラインに結びつくように、比較検討する要素技術、アーキテクチャを説明(3.1で使う用語)

3.1 ベースラインになる研究

3.0 より先にまずは、3.1を書く

3.2 提案

提案事項。深くなってもいいので、自分の研究について書く

4. 実験及び検討

- 実験目的
- 予想される結果
 - o 実験結果
 - 実験結果を読み解く
 - o 検証

↑を1ユニットとして、2項目以上の実験がある人はこの論法を繰り返す。

注意点

他にもまだまだあります. それは別途資料参考のこと

- 章の位置(ト書き)
 - o その章の頭で何が語られるのか書いてから節に降りていく。
- 「~である」調で書く
 - 。「~だ」とは書かないように!
- 句読点の統一

 - 半角の場合「(半角ピリオド)+(半角スペース)」「(半角カンマ)+(半角スペース)」
- 画像の文字
 - 画像内でキャプションより大きな文字を使って画像を載せるのは控えましょう.
- 日本語を書きましょう
 - 1. はじめは書きたいように書きましょう!
 - 2. 先輩に見せましょう!
 - 3. 先輩チェックをクリアしたら先生に見せましょう!
- 参考文献
 - 最低10本(一般的には20本)
 - o aiXiv等の審査or審査がされていない場所からの引用は避けましょう
 - Q. なんでarXivがあるの?

A. ポジショニング。アイディアレベルの発表。誰でも発表できる代わりにこれは、論文としては扱われない。唾つけ、この研究の権利は我にありと世間に知らしめるためのもの。

- なので、国際会議等から引用しましょう。
- 大学等のデータベースからの引用もarXivと同じ理由からそれもだめです。
- 。 英語圏は
 - 1. journal
 - 2. Conference
- 日本語圏では
 - 1. 論文誌
 - 2. 全国大会 or 総合大会
 - 3. 研究会

議論をするための資料なので...

- 参考文献の体裁(フォーマット)
 - 著者 タイトル 年号の順番
 - 参考文献番号の振り方
 - 学会のテンプレートに合わせよう

今日からやること

- 箇条書きで構わないので、論文の話の流れがわかるように全体の構成を考えよう
 - 流れを見てみてかけそうだなと思ってから、書く

徒然なるままに書いていくと、空飛ぶスパゲッティ・モンスターの福音書になる...。 同じ文章が二度も三度も登場する冗長な文章になる。 A=B B=A...。

- 。 なんで、ラフなシナリオを書く
 - 前の方では抽象的に書いていく<mark>疑問を持たれにくい</mark>
 - 論文は後ろにいけば細かくなる。
- - 「ここでは長所を述べ」も同様
- 100文、200文の骨を作っておけば、脱線しないで済む。

卒論に対する意気込み

- 自分の文章力が上がる。
- 他人を動かせるような、他人に理解してもらえる文が書けるようになる。 練習したことがないので、下手なのは当たり前。怖気づかないで書こう。そして、途中の版は消 してはだめ。

最後に完成したら、最初の文章と読み比べてみましょう!